

都市再生整備計画

おっぱまえきしゅうへん
追浜駅周辺地区②(第3回変更)

かながわ よこすかし
神奈川県 横須賀市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	神奈川県	市町村名	横須賀市	地区名	追浜駅周辺地区②	面積	14 ha
-------	------	------	------	-----	----------	----	-------

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
------	-------------------	------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標:都市構造再編集支援事業により、追浜駅周辺の公共施設やまちの多様な機能を再編集し、誰もが利用しやすく、賑わいと利便性のある都市拠点を形成する</p> <p>目標1:都市拠点の賑わい促進 目標2:駅へのアクセス機能を高め中心市街地の利便性向上 目標3:駅周辺の交通結節点機能を強化し、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備</p>

<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>・本市の都市計画マスタープランで当該計画している地区は、既存ストックを有効活用しつつ様々な都市機能を計画的に集積させ、歩いて暮らせるコンパクトな都市づくりの考え方として「拠点ネットワーク型都市づくり」を推進している。主要鉄道駅等を中心とする拠点市街地を形成し、歩いて暮らせる生活圏を形成すべく、居住機能や生活利便施設などの様々な都市機能の集積を図る。</p> <p>・本市の人口は、この5年で約2万人減少しており、少子高齢化の波と市外への流出で人口減少が神奈川県内で先駆けて顕著な状況下にある。そのため、本市の持つ地域の魅力や特性を生かし、重点的、戦略的に取り組んでいくべき政策分野と具体的施策について、横須賀市は再興プラン(実施計画)を策定し、特に重点に取り組む分野の主な施策の一つに拠点市街地の再形成がある。本市は、拠点市街地である追浜地区の再開発等を支援し、まちの防災性を高めるとともに、商業施設など都市機能の集積を図り、公共施設の再編にあたり再開発への参画など公民連携による取組みを推進することで、まちのにぎわいを創出し、追浜駅周辺地区グランドデザインで定めた「～追風～追浜 いつも未来の風吹く街」を目指す。</p> <p>・本市における追浜地区の交通網整備の方針が都市計画マスタープランで示されており、追浜駅周辺の交通結節点機能を強化し、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を目指す。</p> <p>・追浜地区では人口・建物利用(容積率)ともに増加傾向が見られ、まちの需要が高まっている。これまで以上に本市全体を牽引する拠点として、市街地再開発事業等の動きと連動して多様な都市機能の誘導や環境整備を行う等により本市の価値を高め、中心市街地として市内外から吸引力のある拠点形成を図る。</p> <p>・都市計画マスタープランでは、追浜周辺の活性化に必要なまちづくりを総合的に位置付けている。市街地再開発事業等による都市機能の強化や利便性の向上を推進するとともに、既存公園の機能見直しの検討や、災害対応やにぎわい拠点など多様な役割を担う公園整備を進めることで、快適な生活環境や防災性の向上を図る。</p> <p>まちづくりの経緯及び現状</p> <p>・追浜地区は、海岸部の埋め立てによる海軍航空隊飛行場の跡地が、自動車・造船を中心とする産業用地となり、本市の中心的な産業ゾーンを形成している。</p> <p>・追浜駅周辺は起伏ある地形と、海・丘陵・台地が複合する地点であり、駅東側のエリアは比較的なだらかな土地が広がっている一方、駅西側は駅を出てすぐ丘陵地や高台が広がっており、駅に近接した位置に近隣公園である鷹取公園が立地している。</p> <p>・昭和54年6月に追浜駅前第一種市街地再開発事業の都市計画決定を行い、駅北側の街区は完了したが、駅南側の街区については関係権利者の調整が整わず、長期にわたって事業が未着手であり、区域内のほぼ全ての建物は、築後50年程度経過しており老朽化が進んでいる。建物の不燃化や耐震化といった都市防災の観点からも早急な再開発の推進が課題であった。平成28年に事業推進における体制が整い土地利用計画の見直しもあって、令和3年2月に都市計画(変更)決定の告示が行われ、現在は、令和11年度の完了を目指して、市街地再開発事業が進められている。</p> <p>・追浜地区にある追浜コミュニティセンター南館は、1972年に建築され老朽化が著しいことから、地区内にある追浜行政センターや追浜保育園なども含め公共施設の再編について取り組んでいる。公共施設の再編にあたり追浜コミュニティセンター北館に入っている公立図書館(北図書館)を移転する必要性が生じ、施設利用者の利便性の向上と従来の生涯学習の空間と併せて利用者の満足度を高める空間の形成が必要であり、駅前で市街地再開発事業が施行されていることから、複合施設における相乗効果が期待され、まちづくりの観点から公民連携による一層の取組みが求められている。</p> <p>・神奈川県では、障害者等が自らの意思で自由に移動し、社会参加することができるバリアフリーのまちづくりを目指して平成8年に「神奈川県福祉の街づくり条例」が施行され、本市においてもだれもが住みよいまちづくりに取り組んでいる。追浜駅の乗車人員は約3万6千人と横須賀市内で3番目に多いが、駅を利用するにあたり既存の立体横断施設は段差がありバリアフリー化が進んでいない。また、エレベーターは駅構内の北側に1箇所しかないため、駅を利用する高齢者の多くが横断歩道を通行しており安全な歩行者空間の確保が求められている。</p> <p>・立地適正化計画において追浜地区は、市街地再開発事業や都市公園の再整備を契機に、地区に必要な都市機能を誘導し、活気ある拠点形成を図る方針となっている。</p> <p>・追浜駅周辺では、令和5年2月に地域主体の組織である「追浜えき・まち・みちデザインセンター」が開設された。「追浜えき・まち・みちデザインセンター」は、地域の各主体(地域住民・地元企業・交通事業者・学識経験者等)が連携し、地域主体の組織としてまちづくりを推進する取組を行っている。</p> <p>・令和7年6月に追浜駅交通結節点整備事業計画が改訂され、駅東側では北の玄関口としてふさわしい交通結節点の機能強化や市街地再開発事業により賑わいが促進されていくが、西側においても追浜駅周辺の回遊性を高め、活気あるまちづくりを推進すること</p> <p>課題</p> <p>・都市拠点に子育て支援施設・商業施設、医療施設、金融施設、教育・文化施設の整備とあわせて、これらが活用できるネットワークの構築が求められている。</p> <p>・駅前という立地から人々の流れはあるが、滞留する広場の空間がない。また、地域の顔として更なる賑わいが求められている。</p> <p>・都市拠点の核となる施設の整備とともに、市民や来訪者が回遊して時間消費ができるよう、地域資源を活かしたまちづくりが望まれる。</p> <p>・追浜の地域特性上、駅東側は津波浸水区域に指定されており、強固な建物や浸水エリア外への避難を検討する必要がある。</p> <p>・駅西側の地域の交流や憩いの場となる拠点がなく、多様な世代が集い、滞留や交流が促進される公園空間等が望まれている。</p> <p>・都市拠点の幹線道路の一部ではバリアフリー化や歩道の整備も不十分であり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。</p> <p>・自転車等駐車場から商業施設へのアクセスが悪いため、市内で最も多い放置自転車等があり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。</p> <p>・国道357号が南下延伸されることから駅前の交通環境整備が求められている。</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【横須賀市都市計画マスタープラン】 追浜駅周辺の都市拠点は、都市機能、居住機能の維持に加え、北の玄関口としてふさわしい交通結節機能を強化し、利便性の向上を目指す。</p> <p>【横須賀市基本計画】 拠点ネットワーク型都市づくりの推進 拠点市街地は、再開発等によって都市機能を集積し、周辺市街地は、生活サービス機能及び居住機能の集積を図る。 公園の整備・活用 健康、防災、集客、自然環境の保全など、地域にとってどのような公園機能が必要であるかを見極め、整備、活用を進める。</p> <p>【横須賀再興プラン(横須賀市実施計画)】 経済・産業の再興 都市基盤の整備 公園の整備・活用 追浜駅周辺のまちづくり</p> <p>【横須賀市立地適正化計画】 市街地再開発事業や都市公園の再整備等を契機として、地区に求められる都市機能を誘導することで活気ある拠点形成を図る 【追浜駅周辺地区グランドデザイン】 追浜の未来を示す一つの指標として、地区内で計画されている様々な事業の方向性を統一し、地域住民等の方からの大切なご意見も踏まえ、一体的なまちづくりを推進するために2021年3月に策定した。</p> <p>【地域防災計画】 津波発生時には高台及び浸水エリア外への避難が推奨されている。</p> <p>【みどりの基本計画】 安心・安全の確保に寄与するオープンスペースの整備 災害時に役立つ公園づくりを進める。</p>

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

・都市機能誘導区域内において、都市機能(行政機能、介護福祉機能等)毎に施設分類を行い、拠点集積型施設(拠点へ集積していることが望ましい施設)と分散配置型施設(地域に分散して立地していた方が利用しやすい施設)に分類する。
 ・追浜駅周辺における拠点集積型施設は、当該都市機能誘導区域内に既に立地している施設の維持や充実を図るものとして、行政センター、地域子育て支援センター、ショッピングセンター、スーパーマーケット、病院、銀行、図書館としている。また、当該都市機能誘導区域内に立地していないため、新規誘導を図るものとして、百貨店としている。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

追浜駅前で開催されている市街地再開発事業を活用し、地域の核となる公立図書館(北図書館)を移転することで、複合施設における公民連携のにぎわいの創出を図る。

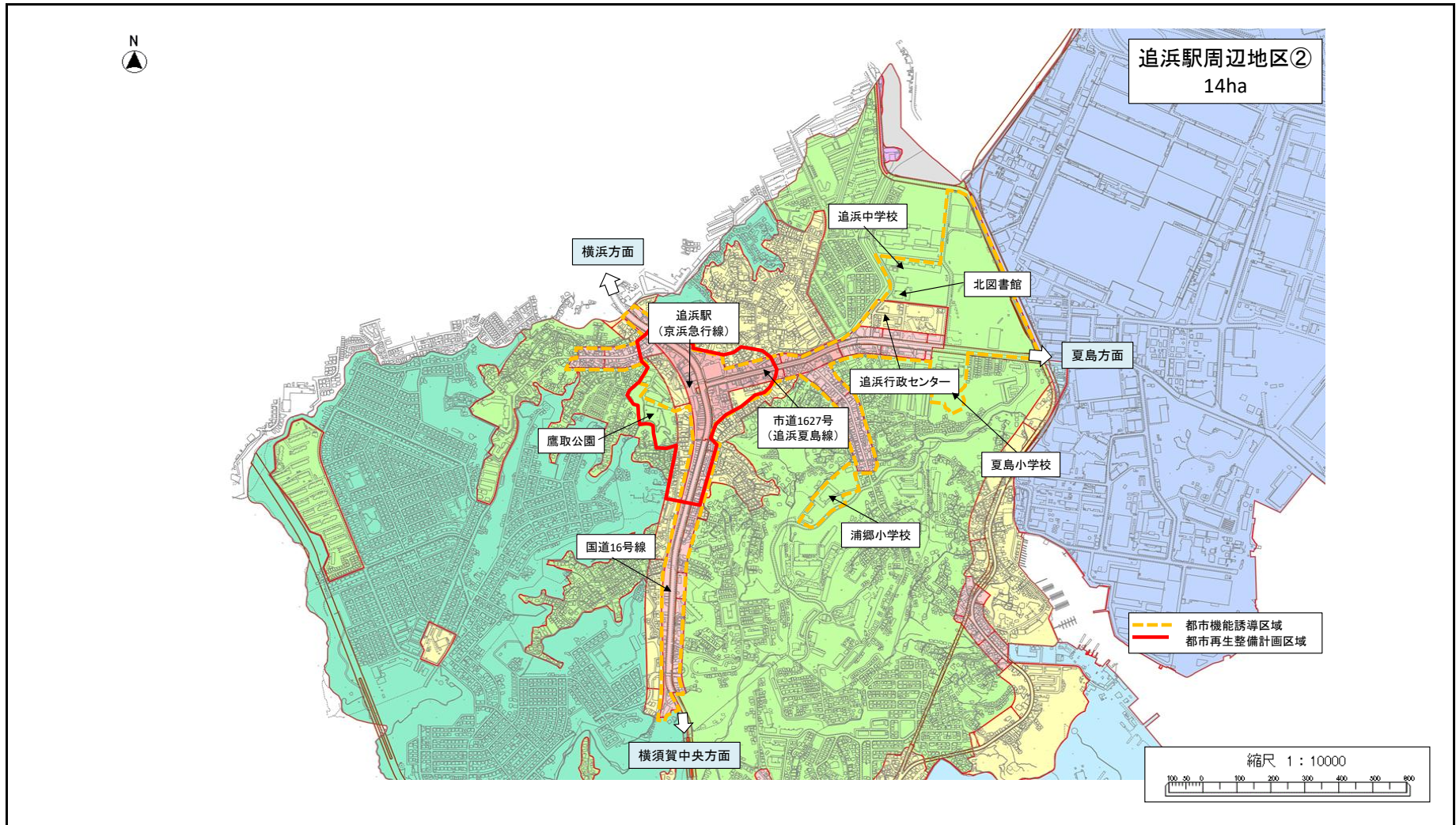
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
追浜駅周辺のまちづくりの満足度	%	市民アンケート回答者のうち追浜駅周辺のまちづくりについて「十分に行われている」と評価した回答を抽出	目標に基づく取組の成果を、住民の追浜駅周辺のまちづくりに対する満足度として把握し、その満足度の向上をもって各目標の達成状況を確認するための指標	6	R2	15	R9
鷹取公園の利用者数	人/日	鷹取公園における利用者数	目標1: 都市拠点の賑わい促進	23	R6	35	R9

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1【地域拠点の賑わい創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業と連携し、教育・文化施設(図書館)の将来的な整備に向けた機運醸成や市民ニーズの把握に努めながら、図書館整備に対する市民の期待度向上を図る。 ・駅東側・西側それぞれの魅力や資源を活かしながら、鷹取公園を地域の交流や賑わいの拠点と位置づけるとともに、災害時には避難場所や一時集合場所として活用できるよう防災機能を強化することで、安心・安全なまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 【公園】 ・鷹取公園 ■提案事業 ・図書館管理・運営手法等の検討事業 ■関連事業 ・市街地再開発事業
<p>整備方針2【交通利便性の改善・回遊性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追浜駅から市街地再開発施設を通り、市道1627号線(追浜夏島線)の地上に至る安全な歩行者動線を確保する。 ・国道16号と平行して市道1627号線(追浜夏島線)を横断する歩行者導線を確保し、これら立体横断施設を組み合わせ、駅周辺の回遊性を高め、地区全体のネットワークの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 【地域生活基盤施設】 ・人工地盤(ペDESTリアンデッキ) ■提案事業 ・人工地盤効果分析調査
<p>その他</p>	
<p>【商店街等と連携したまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同地区で、「都市公園ストック活用によるスポーツ賑わい拠点創出事業」として追浜公園(運動)にプロ野球球団の総合練習場を誘致し、当該球団や地元商店会と連携してプロスポーツを中心としたまちづくりを推進している。 	

追浜駅周辺地区②(神奈川県横須賀市)	面積	14 ha	区域 追浜本町1丁目の一部、追浜町3丁目の一部、鷹取1丁目の一部、追浜町2丁目の一部、追浜南町1丁目の一部
--------------------	----	-------	---



追浜駅周辺地区②(神奈川県横須賀市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	地区の交通ネットワークを向上させるとともに、市街地再開発事業により整備される商業、住宅に加えて公共公益施設等の集積を図り、賑わいのある地域拠点を形成する。	代表的な指標	まちづくりの満足度 (%)	6% (2020年度)	→	15% (2027年度)
			公園の利用者数 (人/日)	23人/日 (2024年度)	→	35人/日 (2027年度)

